

8 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL:津田 廣一 津田 利栄子
		報告日	09/05		
山域	富士山	山行日	11 年 08 月 29 日(月)		
山名	富士山				

山行目的	富士山登頂&親睦を楽しむ	コースタイム(天候:天気図記号)
------	--------------	------------------

配布先
集会:12
山行:1
リーダー-
原紙:集
会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

8/28 晴れ	18:00 自宅(豊橋)発		最初の一本
21:45 富士宮口新五合目 P 着			
8/29 晴れ	03:45 起床		日の出
04:15 登山口(富士宮口)発			
04:45 六合目一本(5分)			浅間神社奥宮前
05:35 新七合目一本(10分)			
06:50 八合目一本(15分)			
08:05 九号五勺一本(5分)			
08:40 山頂(浅間神社)着			
08:50 山頂発(お鉢めぐり)			
09:15 剣ヶ峰			
09:30 剣ヶ峰発			
10:10~30 昼食			
11:00 山頂(浅間神社)発			
11:45 九合目一本(5分)			
12:50 新七合目一本(10分)			
13:35 登山口着			
15:30~16:30 自宅(豊橋)着			

山行報告 【8月28日】25日の計画を天候が悪すぎる為、有休を取って急遽29日に変更。会社から帰ると急ぎ準備をし、車に積み込んで出発。牧ノ原 SA で晩御飯を食し、富士宮の登山口を目指す。思いの外、早く10時前に到着。初めての妻に、登山口を紹介する。明日の行動を復習・確認し、11時に就寝(二人だけなので、後ろのシートを倒し、平坦にして車中泊)。星空の下、明日の晴天を半ば確信、眠り薬のビールを飲んで眠りについた。

【8月29日】携帯アラームの前に、身体が反応し3時45分起床。星空を確かめ、急ぎ出発準備。昨日、妻が用意したお握り一つを食し、ヘッドランプを点けて出発(4:15)。足元が暗いのと、体調の確認も考え、いつも以上のポレポレペースで進む。空が薄明るくなってきた頃に六合目に到着。東の方の雲がピンク色に染まり、太陽が顔を出す方向が少し明るくなっている。小屋に泊っている人も何人か、カメラを構えて日の出を待っている様だ。挨拶を交わし、先へ足を進める。途中で、しばし足を止め、宝永山の方からの日の出を眺める。ポレポレペースの為か、妻も無理なくついて来ている。時々話をしながら、1時間ばかり歩いていると新七合目だ。少々腹も減り、おにぎりを口にする。「雲海がすごいね」「ドラえもんの世界だろう」妻の調子も良さそうだ。八合目の小屋に到着した頃、急にガスって、何も見えず。「アレ、天気悪いのかな?」と心配するも、更に上へ行くと晴れ間が顔を出す。不思議な天候だ。高度も稼げず、そう暑くも感じず、妻もポレポレだが、ついてきているので、油断して九合五勺の小屋へ先に登り切ってしまったら、何時まで待っても登って来ない。やっと姿が見えたら、両足が攣ってしまって困っていたらしい。ペースを落とし、ごまかしながら登ると、頂上へ到着。「やったネ!」しっかりと握手。妻も嬉しそう。記念写真を撮り、剣ヶ峰を目指す。時間的にも余裕があるので、お鉢廻りもする事にし、途中でゆっくりと昼ごはん。下山も順調に降り(何回か滑って転倒はするが)、登山口へ着いたら、ガスってる。雨も降った様で、地面は濡れていた。一風呂を浴びて気持ち良く帰宅。充実の日であった。

確認
(リーダー)
津田
11.9.5
作成
(報告者)
津田
11.9.2

リーダー所見 1回は富士山に登りたいという妻の願いを叶うべく、今年からは、行ける所までで、来年を目指せばいいか?とあって、計画した。2年前は、小屋泊で一般の人を連れて登っているが、日帰りは初めてだし、どうなるか?と心配したが、無事に登れてよかった。最初、計画した日が全国的に雨予想であり、天気の良さそうな日へ変更した事が効を奏した様だ。最初の歩き出しは、ポレポレで様子を確認しつつ登る事が、成功のもう一つのカギかもしれない。



日本最高峰 富士山 剣ヶ峰